かいらんばん
６２.３.１３号

ふれあい

事務局　大代地区公民館　（３６４）８４４２番
（編集）新県民生活運動大代実践モデル地区推進協議会
発行責任者　永沢　三郎

☆☆あいさつは心のふれあい、あいさつしましょう出会った人と ☆☆あいさつは心のふれあい、あいさつしましょう出会った人と ☆☆あいさつは心のふれあい、あいさつしましょう出会った人と ☆☆あいさつは心のふれあい、あいさつしましょう出会った人と

☆　新生活運動を早く軌道に　☆

勇気をもって実行しましょう

新生活運動の柱である虚礼廃止の話題の中心となるのは、身近なところで、まずお見舞いお祝いなどののしぶくろの中身の軽重のようで、昭和六十一年度活動重点だけに関心は大きかったようです。ちなみに二・三の例を拾って見ましょう。

贈った側がいうのには・・・

以前に頂いた額をくずすわけにいかないので中身をへらさず入れることになる

頂いた側のいうのには・・・

折角見舞っていただいたり、お祝いを頂いたのにただというわけにいかず、・無理してもお返しすることになる。

これではいつまでたっても進歩も改善も生まれませんが次は実行し経験した側の言葉を聞きましょう。

贈った人はこういってます。・・・

新生活運動のスローガンは期待している、上限三千円非常に結構シ　ルを貼って出せばお返しの心配もさせないようでお互いによい

頂いた方の立場の人は・・次のとおり・・

皆がよいことと決めたら実行は早い方がよいと思ってお返し物の心づかいをしなかったが、その後お返ししてる話を聞いてなんとなく申し訳ない気持ちがした、でも、誰かが実行しなければあとが続かないと思うとネ

以上の例は前回の役員会において実践活動状況を検討した地域の話題の一部でした。いろんな話題がありましょう、でも地域で推進しているよいことは勇気をもって実行し新生活運動を軌道に乗せて実現し習慣づけるようにしたいものです。

三月、四月は卒業、進学、就職、入園、入学・などのし袋が忙しく動くとか、その時は回覧板「ふれあい」の枠外のスローガン「お祝いお見舞いは三千円をこえないよう、お返し物はしないよう気配りしよう」・を思いだして真心をもって意志を表現し合うことから無駄を省いた触れ合いが生まれるとおもいます

運動をはじめて三年目になります、地域の一人ひとりの心掛ひとつで大きな目標が達成できると信じ今年こそあなたも実行者の一人になりましょう。

☆☆冠婚葬祭合理化例

○県内各地で活発な活動展開

いま県内各地において生活の改善運動が活発に実施され大きな成果をあげていますがその一例を参考に紹介いたします。

●瀬峰町下富実践モデル地区

連絡協議会は無理なく実行できる「申し合わせ事項」を設定し、実践活動していることとは。

・婚礼祝儀　五千円以内　引き物は廃止、料理はその場で食べられるもの。

・出産祝　二千円以内
内祝等のお返し廃止出生児の名入りの礼状のみ。

・上棟式　四千円以内　引き物廃止

・新宅振舞　三千円以内
引き物廃止、料理はその場で食べられるもの。

・病気見舞　二千円以内
快気祝の引き物廃止、礼状のみ。

・お　悔　一千円以内
香典返しの廃止、礼状のみ。

・法　事　三千円以内　引き物廃止。

・婚礼披露宴は会費制を奨励し公民館を利用

●登米町遠見台実践モデル地区

新興団地のため家を新築するなど義理首尾が多い中で各戸に基準を印刷した「のし袋」を配付して実践している。

婚礼祝儀	一万円、	新築振舞	三千円
法　事	三千円	上棟式	一千円
出生祝	一千円	入学祝	一千円
病気見舞	一千円	お　悔	一千円

（ゆっくり読んでサインしてお隣さんにどうぞ）

心のふれあう
社会をつくろう
美しいふるさの
花と緑を大切に
資源とエネルギーを
大切にしよう

☆☆お祝い、お見舞いは三千円を越えないようお返し物はしないようお互い気を配りましょう ☆☆お祝い、お見舞いは三千円を越えないようお返し物はしないようお互い気を配りましょう ☆☆お祝い、お見舞いは三千円を越えないようお返し物はしないようお互い気を配りましょう ☆☆